

おねえさんになった。たあこめづくり

ぶぞく小学校も二年。そのべ ゆいさ

五月八日は、わたしがずつとたのしみにしてきた、しろかきの日です。それは、わたしが少しおねえさんになる日です。

わたしが一年生の時、二年生が田んぼでおこめをつくって、にぎったおにぎりをプレゼントしてくれました。そして今では、わたしたちが一年生のために、白くてピカピカごはんのおにぎりをつくってあげます。だから、わたしは、おねえさんになるのだと思って、ずつとこの日をわくわくした気もちでまっぴました。

いよいよわたしのはんになって、足を水をはった土の中に入れて歩いてみると、土がわたしの足をつかんではなさなくなっ、たいへんでした。目に土が入ったり、ころんだりしていたかっ、たけれど、「一年生においしいおにぎりをたべてえがおになってもらいたい」と思っ、て、体中がまっくろでどろどろになっ

ても、さいごまでがんばりました。

そして、五月十五日には、田うえをしました。田んぼに入るといじろかきで土をやわらかくしたから水と土がよくまざって、今どはわたしの足がつかまれることがなくて、とるとろでひゃつとして気もちがよかったです。わたしは、「おこめがちゃんそだちますように」とおねがいしながら、すすくすく大きくなるように、なえをまっすぐに立ててうえました。おじいちゃんちゃんの田んぼでは、田うえはまかいでやったので、小学校田んぼは、手でうえられるかしんばいだったけれど、みんなでがんばったら、ちゃ色の田んぼが、いっばいのなえできれいなみどり色になりました。

田うえがおわったあとも、田んぼに行くとびになえがどんどん大きくなっていてのを見ると、わたしのおねえさんとしての一年生への気もちも、もっと大きくなっているみたいでうれしいです。あきになって、おいしいおにぎりをプレゼントするのがたのしみです。